

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 ＝留萌市における結果の概要＝

I 調査の概要

1 調査の目的

- (1) 国が全国的な児童生徒の体力・運動能力や運動習慣・生活習慣等を把握・分析することにより、児童生徒の体力・運動能力や運動習慣・生活習慣等の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が全国的な状況を踏まえ、児童生徒の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、児童生徒の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力・運動習慣や生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査対象

- (1) 小学生調査 小学校第5学年（留萌市調査実施児童 男子 58名 女子 55名）
- (2) 中学校調査 中学校第2学年（留萌市調査実施生徒 男子 61名 女子 43名）

3 調査内容

(1) 児童生徒に対する調査

ア 実技に関する調査

・小学校調査

〔8項目〕握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

・中学校調査

〔8項目〕握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン又は持久走（男子1500m、女子1000m）、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

※20mシャトルランか持久走のどちらかを選択

イ 質問紙調査

・運動習慣、生活習慣等に関する調査

(2) 学校に対する質問紙調査内容

・質問紙調査（子供の体力の向上に係る学校の取組等）

4 調査実施日

令和7年4月から7月まで

※ 備考

○「Ⅲ 児童生徒質問紙の調査結果の概要」における全国平均等との差を表す基準について

- | | | |
|------------|------|-------|
| ・7%以上 | 相当多い | 相当少ない |
| ・5%以上 7%未満 | 多い | 少ない |
| ・3%以上 5%未満 | やや多い | やや少ない |

II 実技に関する調査結果の概要

1 用語解説と説明

体力テスト種目	体力要素	測定	
握力	筋力	左右握力の平均値	
上体起こし	筋パワー・筋持久力	30秒間に上体を起こした回数	
長座体前屈	柔軟性	長座位で前屈したときの両手の前方への移動距離	
反復横とび	敏捷性	20秒間に両脚で左右側方に反復跳躍した回数	
20mシャトルラン	全身持久力	20m走行の折り返し回数	(中) どちらかの1種目を選択
(中) 持久走	全身持久力・長距離走能力	男子1500m、女子1000mの走行時間	
50m走	疾走能力	50mの疾走時間	
立ち幅とび	筋パワー・跳躍能力	両脚で前方へ跳躍した直線距離	
(小) ソフトボール投げ (中) ハンドボール投げ	巧緻性・投球能力	遠投した距離	
体力合計点	8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化して総和した体力テスト合計得点(80点満点)		
総合評価	8種目の体力テストをすべて実施した場合、体力テスト合計得点の良い方からABCDEの5段階で評定した体力の総合評価 小学校第5学年 A:65点以上 B:58～64 C:50～57 D:42～49 E:41点以下 中学校第2学年 A:57点以上 B:47～56 C:37～46 D:27～36 E:26点以下		

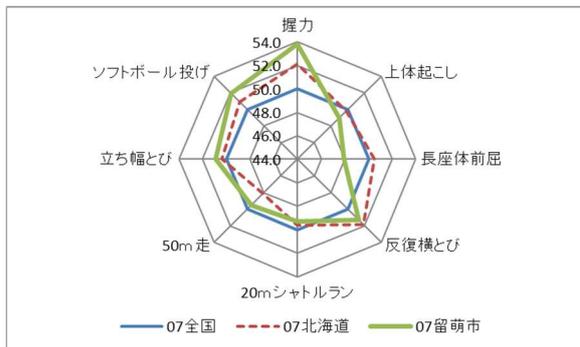
※ (小) は小学校、(中) は中学校

用語	解説
標本数	・平均値、標準偏差、T得点(※)を算出した人数
平均値	・調査結果(テスト成績)の算術平均値で集団の尺度上の位置を示す。 「平均値=調査結果の総和/標本数」
標準偏差	・調査結果の分布の広がりを示す。平均値±標準偏差の範囲内に全体の68%が入る。 ・平均値±標準偏差の3倍の範囲内にほぼ全体が入る。(いずれも正規分布の場合) 「標準偏差=分散の平方根、分散=偏差平方和/(標本数-1)、 偏差平方和=偏差の平方の総和、偏差=調査結果-平均値」
体力合計点	・実技テスト項目における得点の合計
T得点(※)	・全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較する平均値50点、標準偏差10点の標準得点。 「T得点=50+10×(調査結果-平均値)/標準偏差」

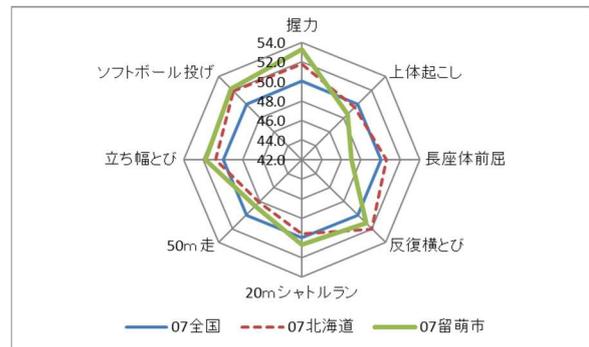
2 小学校5年生の結果概要

(1) 各種目の結果（全国を50とした時のT得点をレーダーチャートで表示）

<男子>



<女子>

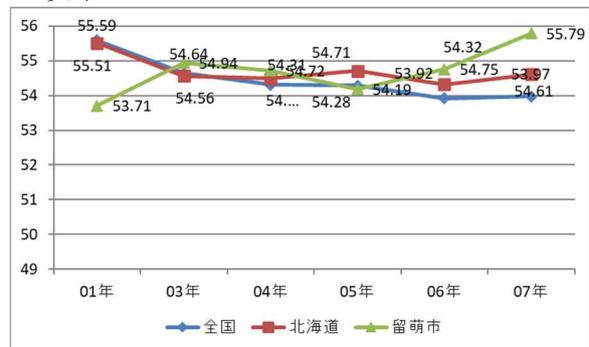


(2) 体力合計点（平均値）の推移

<男子>

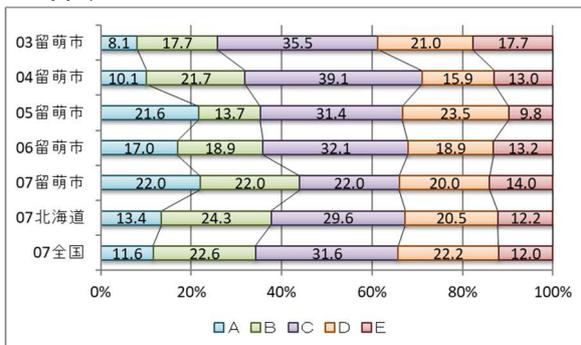


<女子>

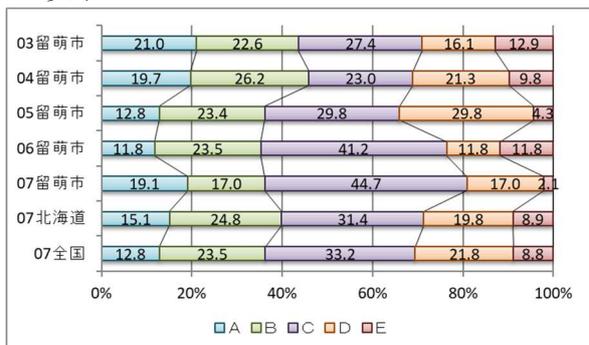


(3) 総合評価の推移

<男子>



<女子>



○各種目

・男子・女子ともに、「握力」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」が全国及び全道平均を上回り、「反復横とび」は全国平均を上回ったが、全道平均を下回った。女子は「20mシャトルラン」で全国及び全道平均を上回った。「50m走」は男子・女子ともに全国は下回ったが、全道は上回った。「上体起こし」「長座体前屈」は、男子・女子ともに全国及び全道平均を下回った。

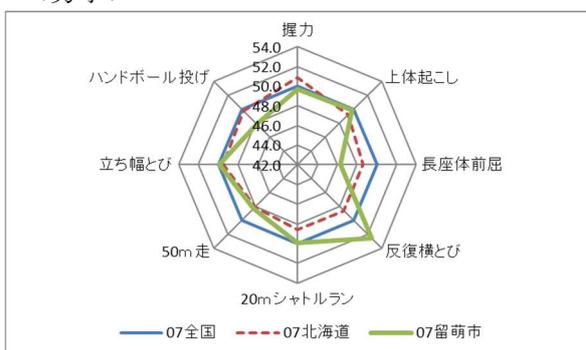
○体力合計点（平均値）・総合評価

・体力合計点は、男子は全国平均を0.98ポイント、全道平均を0.40ポイント上回った。女子は全国平均を1.82ポイント、全道平均を1.18ポイント上回った。
 ・総合評価は、男子はA・B層（総合評価の推移参照）の割合は5年間で最も多い。また、全国と比べても相当多く、全道と比べても多い。女子はA・B層の割合は06年度と比べて同程度であり、全国及び全道平均と比べて同程度である。

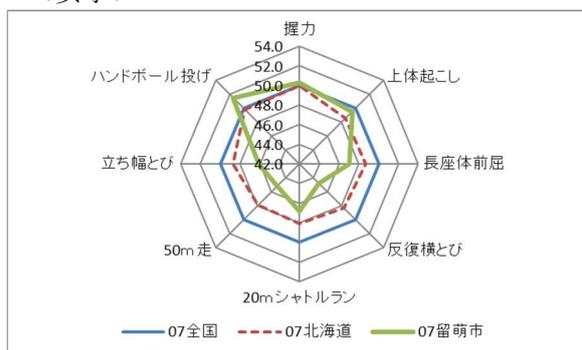
3 中学校2年生の結果概要

(1) 各種目の結果（全国を50とした時のT得点をレーダーチャートで表示）

<男子>

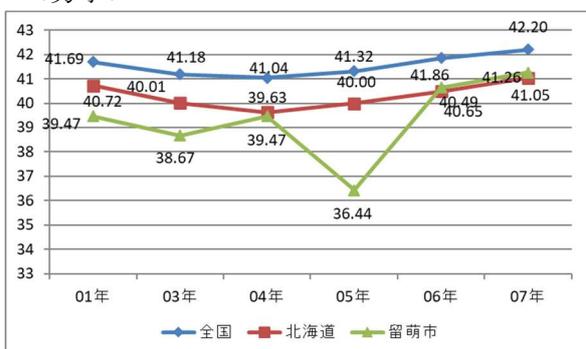


<女子>

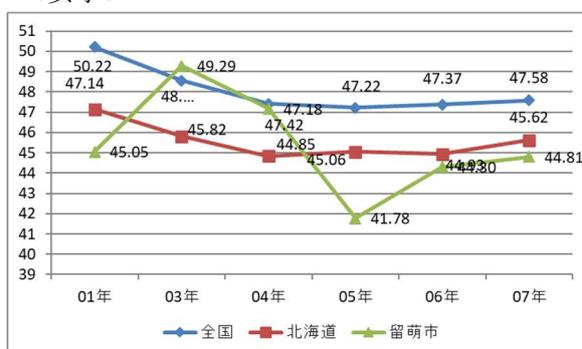


(2) 体力合計点（平均値）の推移

<男子>

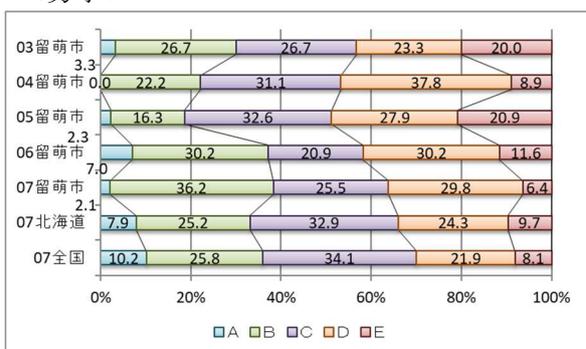


<女子>

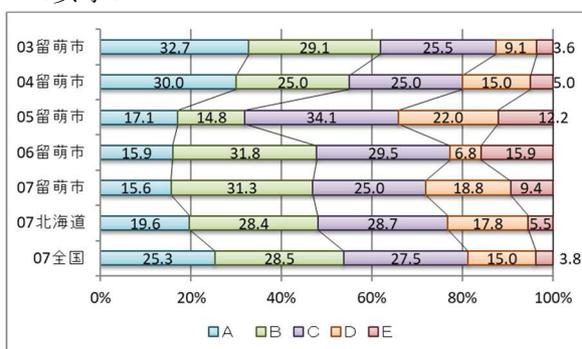


(3) 総合評価の推移

<男子>



<女子>



○各種目（※「20mシャトルラン」と「持久走」は、どちらかを選択して実施）

- ・男子は、「反復横とび」が全国及び全道平均を上回った。「上体起こし」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」は全国平均を下回ったが、全道平均を上回った。「握力」「長座体前屈」「ハンドボール投げ」は全国及び全道平均を下回った。
- ・女子は、「握力」「ハンドボール投げ」が全国及び全道平均を上回った。「上体起こし」は全国平均を下回ったが、全道平均は上回った。「長座体前屈」「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」は全国及び全道平均を下回った。

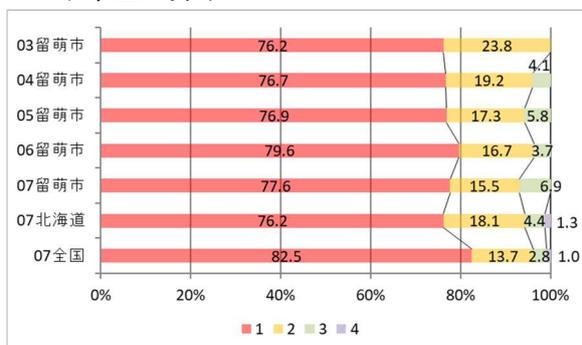
○体力合計点（平均値）・総合評価

- ・体力合計点は、男子は全国平均を0.94ポイント下回ったが、全道平均を0.21ポイント上回った。女子は全国平均を2.77ポイント、全道平均を0.81ポイント下回った。
- ・総合評価は、男子はA・B層（総合評価の推移参照）の割合は5年間で最も多い。また、全国と比べても多く、全道と同程度である。女子はA・B層の割合は05年度の次に多く、全道平均と比べて同程度であるが、全国平均と比べて少ない。

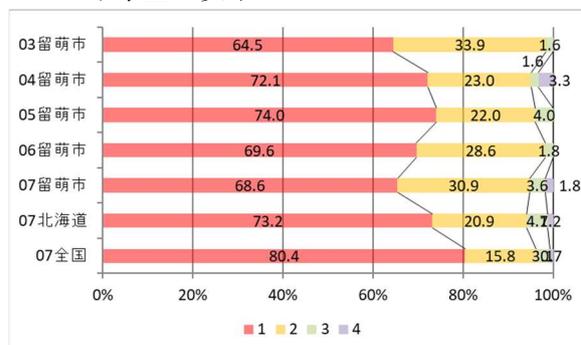
Ⅲ 児童生徒質問紙の調査結果の概要

質問 1	朝食を食べていますか。
	1 毎日食べる 2 食べない日もある 3 食べない日が多い 4 食べない

<小学生・男子>



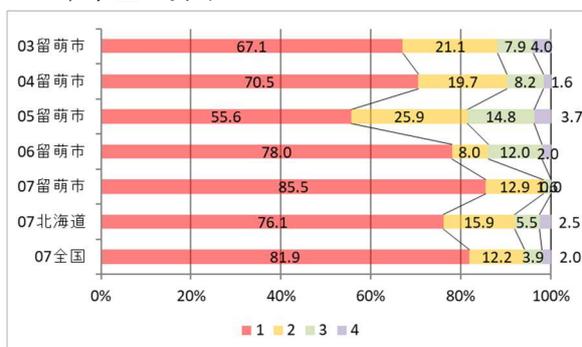
<小学生・女子>



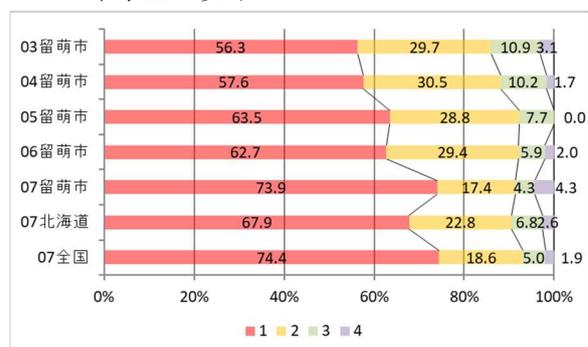
【小学生】

・朝食を食べているかの質問では、男子の「毎日食べる」と回答した割合は、全国と比べてやや少なく、06年度と比べて同程度である。女子の「毎日食べる」と回答した割合は全国と比べて相当少なく、06年度と比べて同程度である。

<中学生・男子>



<中学生・女子>

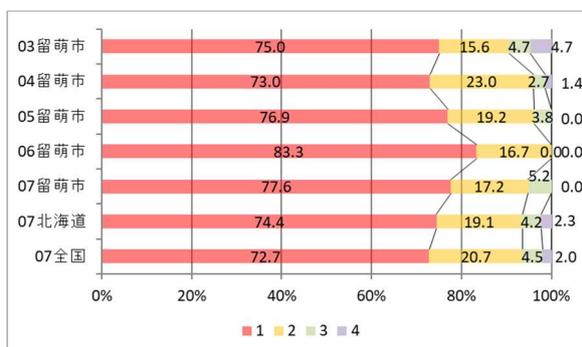


【中学生】

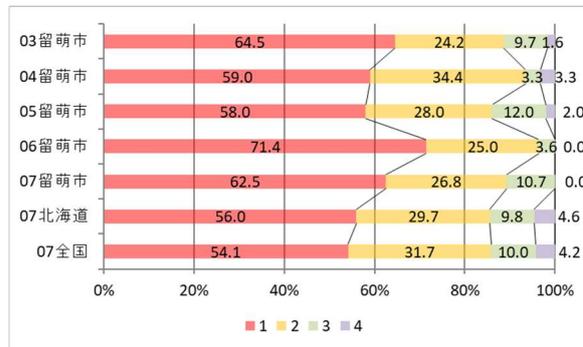
・朝食を食べているかの質問では、男子の「毎日食べる」と回答した割合は、全国と比べてやや多く、06年度と比べて相当多い。女子の「毎日食べる」と回答した割合は、全国と比べて同程度で、06年度と比べて相当多い。

質問2	運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか。 1 好き 2 やや好き 3 やや嫌い 4 嫌い
-----	---

<小学生・男子>



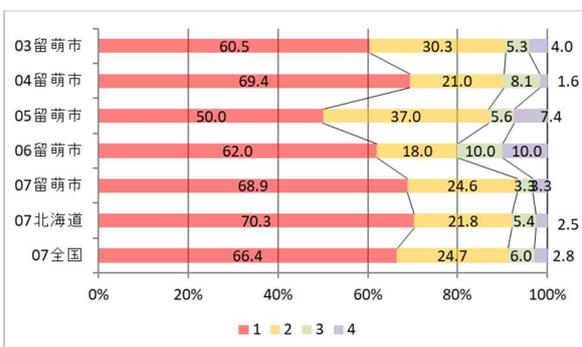
<小学生・女子>



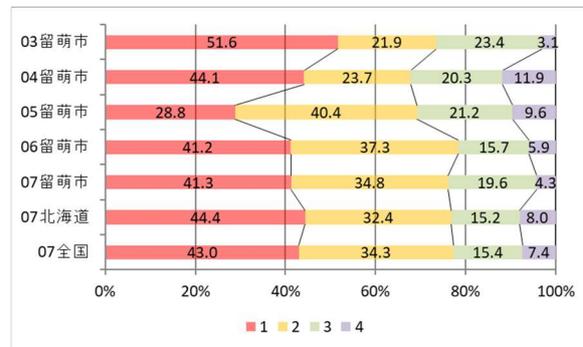
【小学生】

・運動やスポーツをすることが好きと肯定的に回答した児童の割合は、男子は90%を超え、全国及び全道と比べて同程度である。女子は全国及び全道と比べてやや多く、90%近い児童が肯定的回答をしている。

<中学生・男子>



<中学生・女子>

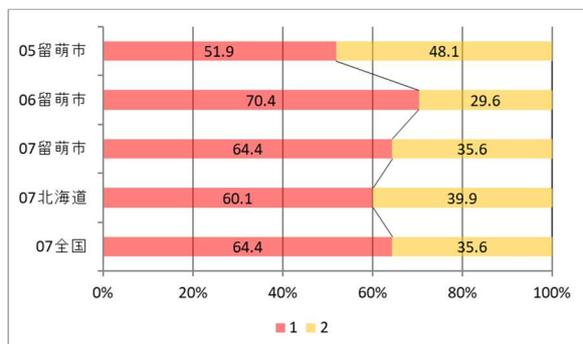


【中学生】

・運動やスポーツをすることが好きと肯定的に回答した生徒の割合は、男子・女子とともに全国及び全道と比べて同程度である。男子は90%、女子は80%近い生徒が肯定的回答をしている。

質問3 (小)	地域のスポーツクラブに入っていますか。(スポーツ少年団や習い事をふくみます) 1 入っている 2 入っていない
------------	---

<小学生・男子>



<小学生・女子>



【小学生】

- ・地域のスポーツクラブに入っているかの質問では、地域のスポーツクラブに入っている児童の割合は、男子は全国と比べて同程度で、06年度と比べて少ない。女子は全国と比べて少なく、06年度と比べて相当少ない。

質問3 (中)	学校の部活動や地域のクラブ活動、地域のスポーツクラブに所属していますか。当てはまるものをすべて選んでください。 【複数回答可】 1 学校の運動部 2 学校の文化部 3 地域のクラブ活動（スポーツ）、その他のスポーツクラブ 4 地域のクラブ活動（文化） 5 所属していない ※令和7年度から地域のクラブ活動をスポーツと文化に分け質問
------------	---

<男子>

	全 国	北海道	留萌市
令和7年度			
学校運動部	67.6	59.2	69.5
学校文化部	9.3	9.8	10.2
地域スポーツ	31.6	26.6	25.4
地域文化	1.5	1.7	1.7
所属していない	10.2	15.9	15.3

<女子>

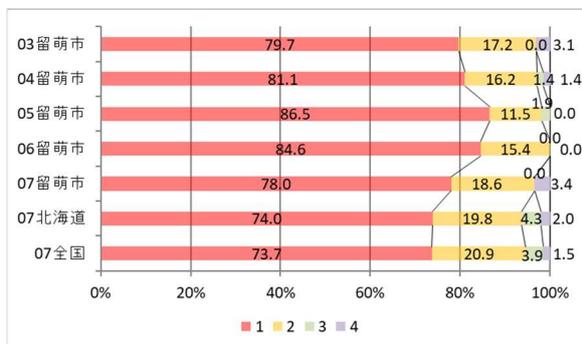
	全 国	北海道	留萌市
令和7年度			
学校運動部	52.7	43.9	47.7
学校文化部	27.7	29.4	20.5
地域スポーツ	20.0	16.4	20.5
地域文化	2.8	3.2	0
所属していない	15.0	18.8	25.0

【中学生】

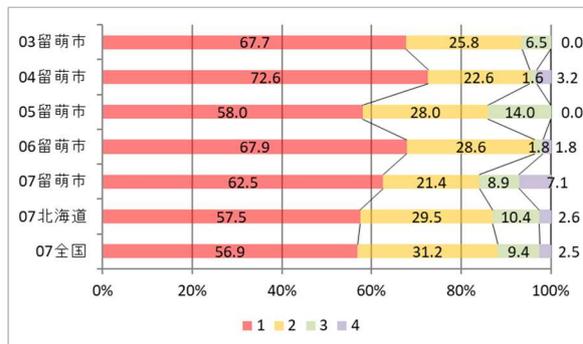
- ・学校の運動部に所属している生徒の割合は、男子は全国と比べて同程度で、女子は少ない。地域のスポーツクラブ等に所属している生徒の割合は、男子は全国と比べて少なく、女子は全国と比べて同程度である。学校の文化部や地域の文化クラブ等に所属している生徒の割合は、男子は全国と比べて同程度で、女子は全国と比べて相当少ない。

質問 4	体育〔保健体育〕の授業は楽しいですか。 1 楽しい 2 やや楽しい 3 あまり楽しくない 4 楽しくない
------	---

<小学生・男子>



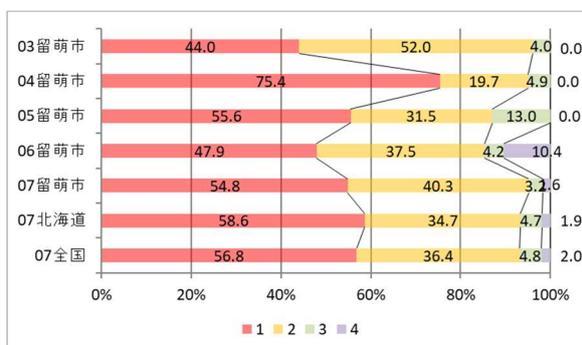
<小学生・女子>



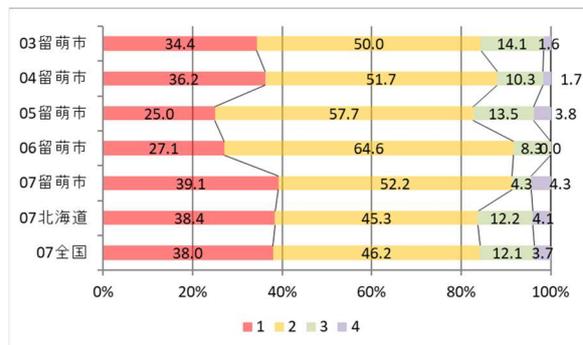
【小学生】

・体育〔保健体育〕の授業は楽しいかの質問では、体育の授業は楽しいと肯定的に回答した児童の割合は、5年間で男子は90%、女子は80%を超えている。また、07年度は、男子は全国と比べて同程度で、女子は全国と比べてやや少ない。

<中学生・男子>



<中学生・女子>

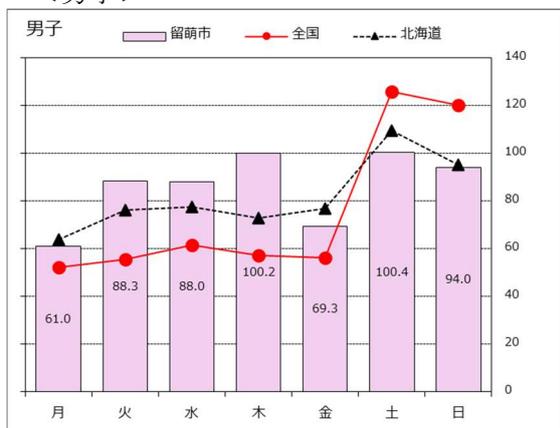


【中学生】

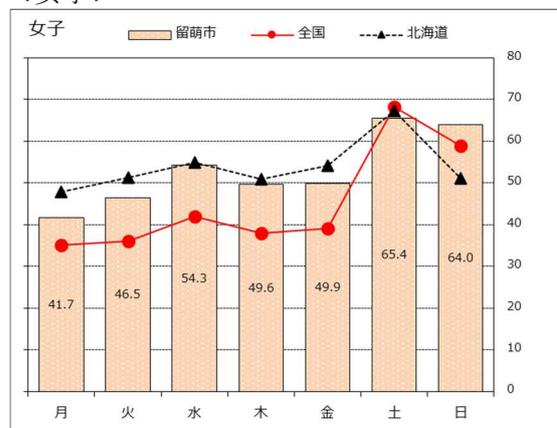
・体育〔保健体育〕の授業は楽しいかの質問では、体育の授業は楽しいと肯定的に回答した生徒の割合は、男子は全国と比べて同程度で、全道と比べてやや少ないが、06年度と比べると相当多い。女子は全国・全道と比べて相当多く、06年度と比べて同程度である。

質問5 (小) ふだんの1週間について聞きます。学校の体育の授業以外で、運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツを合計で1日どのくらいの時間していますか。

<男子>



<女子>

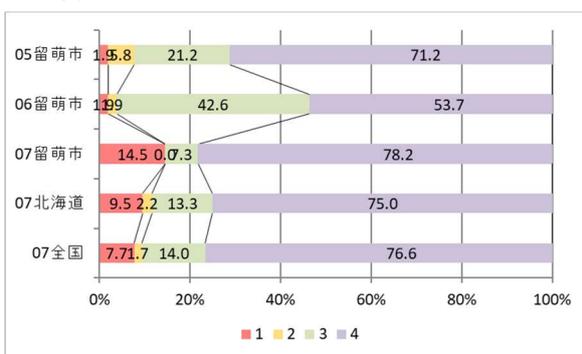


【小学生】

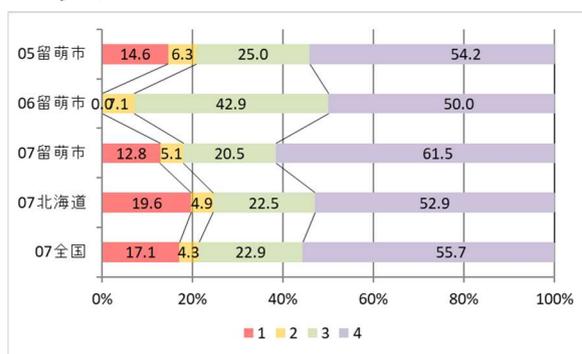
・体育の授業以外で、運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツを一週間でどのくらいしているかという質問では、男子は月曜日から金曜日までは全国を上回っており、土曜日と日曜日は全国を下回っている。女子は土曜日が全国と同程度であるが、他の曜日では全国を上回っている。

質問5 (中)	学校の運動部や地域のクラブ活動、スポーツクラブ、それ以外の運動やスポーツ、それぞれ何分ぐらい活動していますか。 (※各項目及び月曜日から日曜日までの時間を合計し、1週間の総運動時間として表記)					
	1	0分	2	60分未満	3	60分以上420分未満
	4	420分以上				

<男子>



<女子>

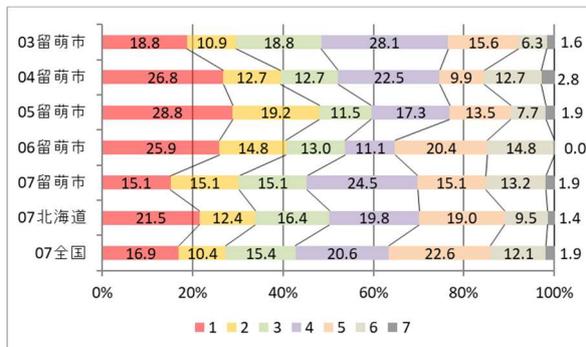


【中学生】

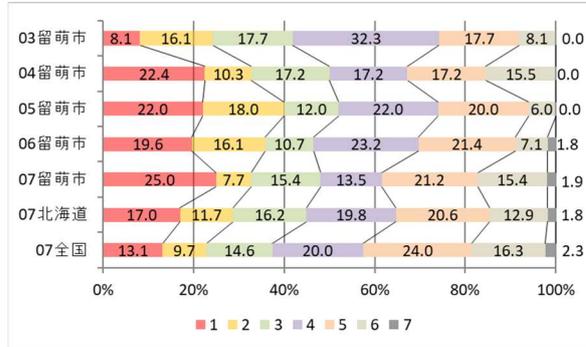
・学校の運動部や地域のスポーツクラブ等の活動、それ以外の運動やスポーツなどを一週間でどのくらいしているかという質問では、男子は420分以上と回答した生徒の割合は、全国と比べて同程度で、全道と比べてやや多い。女子は全国と比べて多く、全道と比べて相当多い。

質問 6	平日(月～金曜日)について聞きます。学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。
	1 5時間以上 2 4時間以上5時間未満 3 3時間以上4時間未満 4 2時間以上3時間未満 5 1時間以上2時間未満 6 1時間未満 7 全く見ない

<小学生・男子>



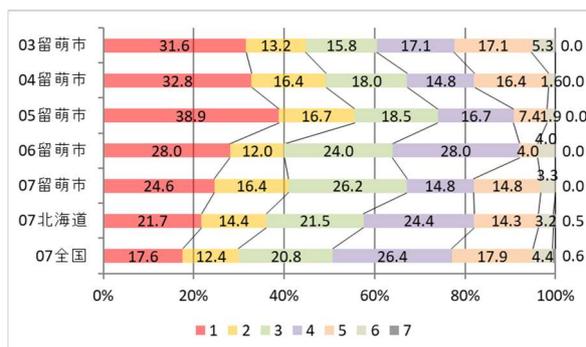
<小学生・女子>



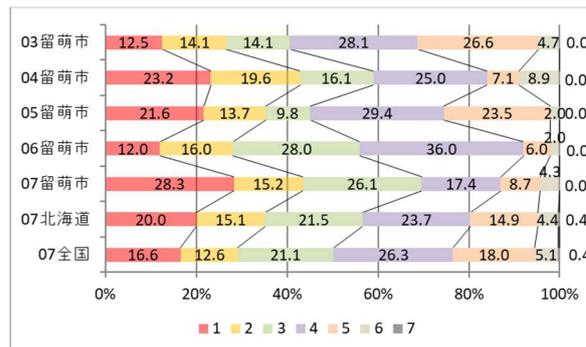
【小学生】

・平日(月～金曜日)に学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ているかの質問では、平日に1日に3時間以上テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ている児童の割合は、男子は全国と比べて同程度で、06年度と比べて相当少ない。女子は全国と比べて相当多く、06年度と比べて同程度である。

<中学生・男子>



<中学生・女子>



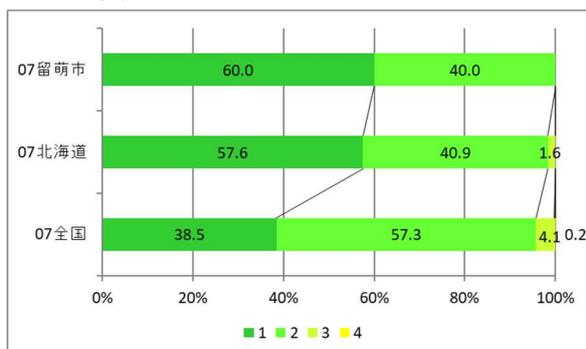
【中学生】

・平日(月～金曜日)に学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ているかの質問では、平日に1日に3時間以上テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ている生徒の割合は、男子は全国と比べて相当多く、06年度と比べてやや多い。女子は全国と比べて相当多く、06年度と比べて相当多い。

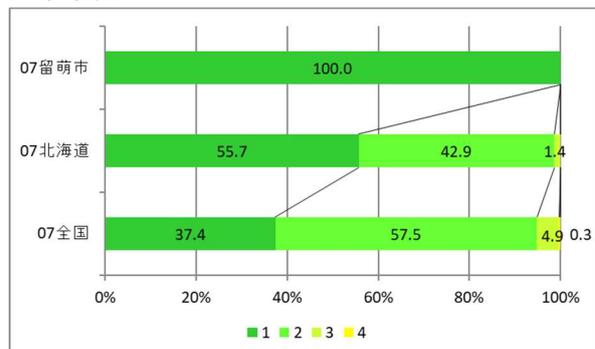
IV 学校質問紙の調査結果の概要

質問 1	教育目標を踏まえた教科等横断的な視点で、必要な教育内容を組織的に配列していますか			
	1 よく行っている	2 どちらかといえば行っている		
	3 あまり行っていない	4 全く行っていない		

<小学校>



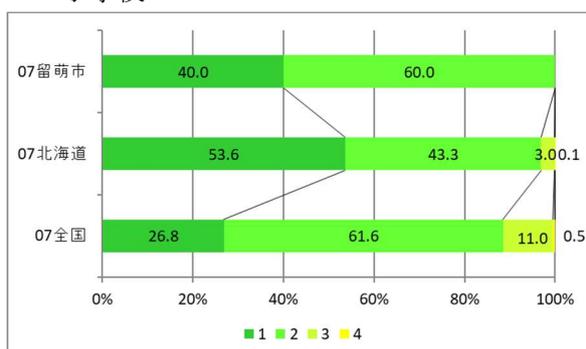
<中学校>



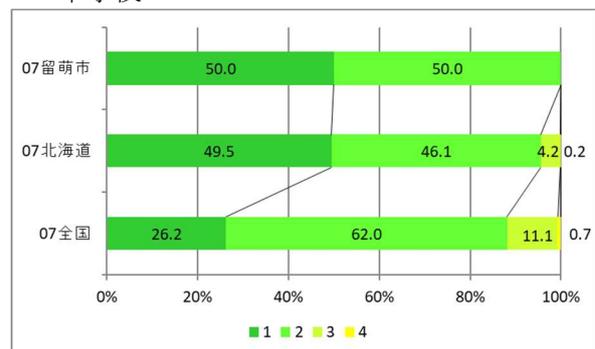
・教育目標を踏まえた教科等横断的な視点での教育内容の組織的に配列は、全ての小学校と中学校で行われている。

質問 2	調査やデータ等に基づき、PDCAサイクルを確立していますか			
	1 よく行っている	2 どちらかといえば行っている		
	3 あまり行っていない	4 全く行っていない		

<小学校>



<中学校>



・調査やデータ等に基づいたPDCAサイクルの確立については、全ての小学校と中学校で行われている。

質問3	教師は児童（生徒）の体力向上や体育の授業研究に関する校内外の研修や研究会に参加し、自校の体力・運動能力の向上に係る取組に反映していますか。			
	1 よくしている	2 どちらかといえばしている	3 あまりしていない	4 全くしていない

<小学校>

	07 全国	07 北海道	07 留萌市
授業改善に取り組んでいる	90.8	94.8	100.0
授業以外で、取組を行っている	78.9	82.0	100.0
家庭・保護者に対して働きかけを行っている	34.9	62.0	40.0
地域と連携して取組を行っている	21.1	38.5	60.0
運動時間が少ない児童に対して取組を行っている	19.1	17.8	0.0
特にしていない	0.6	0.0	0.0
その他	0.7	1.0	0.0

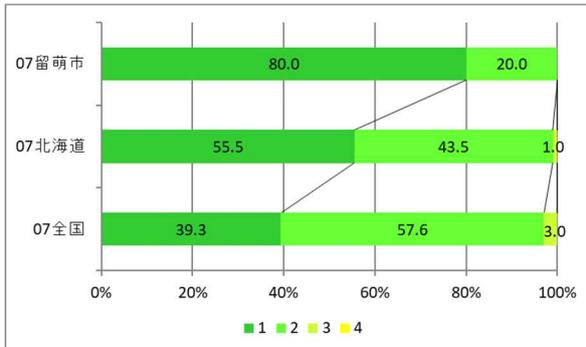
<中学校>

	07 全国	07 北海道	07 留萌市
授業改善に取り組んでいる	97.3	97.8	100.0
授業以外で、取組を行っている	50.7	64.3	100.0
家庭・保護者に対して働きかけを行っている	17.8	46.7	50.0
地域と連携して取組を行っている	14.7	31.1	50.0
運動時間が少ない生徒に対して取組を行っている	15.9	18.4	0.0
特にしていない	0.5	0.2	0.0
その他	0.8	1.8	0.0

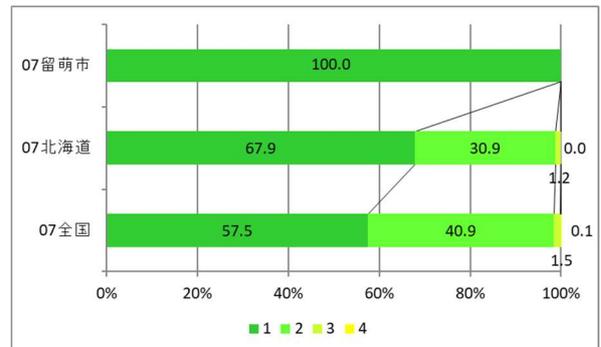
・研修や研究会等に参加したことを自校の体力・運動能力の向上に係る取組に反映しているかについては、全ての小学校や中学校で授業改善や授業以外での取組に反映させている。

質問4	体育（保健体育）の授業では、振り返り活動を取り入れていますか。			
	1 いつも取り入れている	2 だいたい取り入れている	3 あまり取り入れていない	4 全く取り入れていない

<小学校>



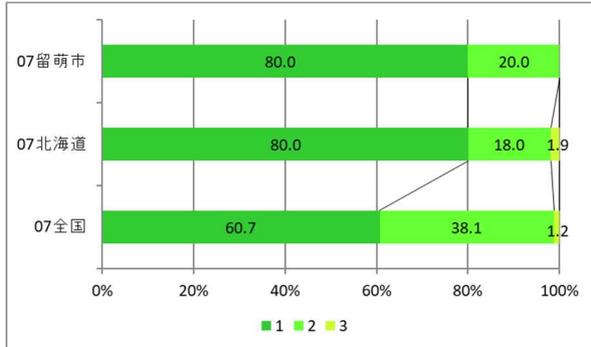
<中学校>



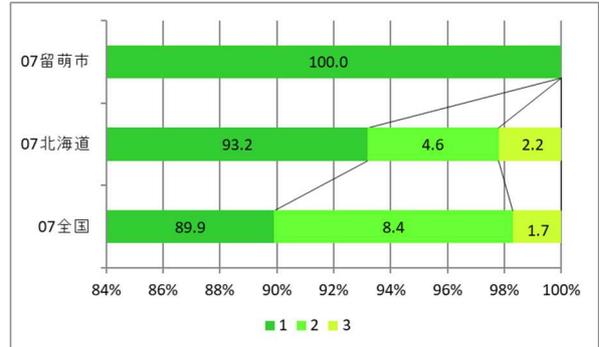
・体育（保健体育）の授業の振り返り活動については、全ての小学校と中学校で行われている。

質問 5	体育（保健体育）の授業では、児童（生徒）同士で話し合う活動を取り入れていますか。
	1 取り入れている 2 一部の学年で取り入れている 3 取り入っていない

<小学校>



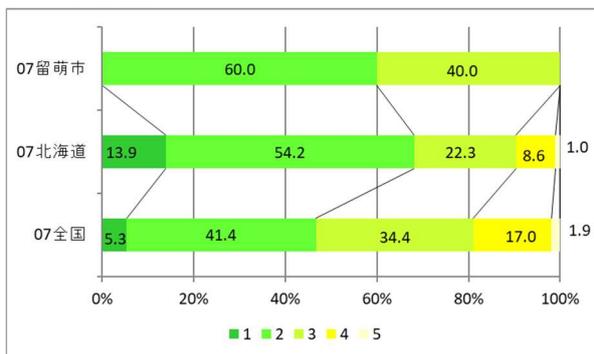
<中学校>



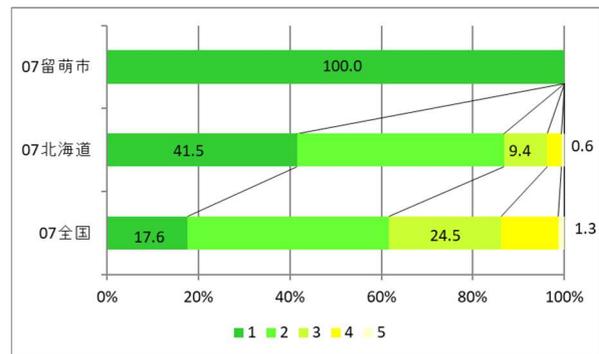
・体育（保健体育）の授業における児童（生徒）同士の話し合い活動は、小学校では一部の学年で取り入れている学校もあるが、全ての小学校と中学校で行われている。

質問 6	体育（保健体育）の授業におけるICTの活用について、どのくらいの頻度で活用していますか
	1 毎時間活用している 2 週に1時間程度活用している 3 月に1時間程度活用している 4 年に数時間程度活用している 5 ICTを活用していない

<小学校>



<中学校>



・体育（保健体育）の授業におけるICTの活用については、全ての小学校で毎時間、あるいは週に1時間程度ICTを活用している。中学校では全ての学校が毎時間ICTを活用している。

V おわりに

体力は、あらゆる活動の源として、健康維持のほか、意欲や気力の充実にも大きくかかわっており、子どもたちが生涯にわたって心身ともに健やかに生きるための基盤となるものです。そのため、幼児期から運動に親しむ資質や能力を育成し、体力及び運動能力の向上に努めることが大切になります。

この「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」は、全国的な児童生徒の体力・運動能力、運動習慣等を把握・分析することにより、国や各教育委員会、各学校が課題を共有し、体力向上・健康増進に向けた教育活動の改善に役立てていくことを目的としています。各学校においては、新体力テストや質問紙調査等の結果を踏まえ、体育（保健体育）科年間指導計画や体力・運動能力向上プランの見直しを図るとともに、体育的活動や授業改善に活用するなど、体力・運動能力向上に向けた検証改善サイクルを確立し、課題に正対した取組を進めてきています

体力合計点における全国平均値との比較では、小学校男子と女子はともにやや上回りましたが、中学校男子と女子はともに下回りました。種目別に見ると、小学校・中学校男女合わせて32種目中12種目が全国を上回っています（昨年度は、32種目中15種目）。

スポーツ庁の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書」においては、『体力合計点は、小中学校男女ともに前年度から向上しているが、中学校男子を除いてコロナ前の水準には至っていない。総合評価C以上の割合を見ても、小中学校ともに前年度と比較し、微増しており、この数年間の傾向については、男子では少しずつ増加、女子では横ばいで推移している。第3期スポーツ基本計画では、総合評価C以上の児童の割合を80%（留萌市の男子は66%、女子は80.8%）以上に、生徒の割合を85%（留萌市の男子は66%、女子は71.9%）以上に増加させることを目指しているが、その水準には小中学校ともに達していないことから、引き続き体力向上に向けた取組を継続する必要がある。』と述べています。

留萌市の結果においては、体力合計点を昨年度と比較すると、小学校男子と小学校女子はともにやや上回り、体力・運動能力の向上が見られます。中学校男子と中学校女子はともに昨年度を上回りましたが、全国の体力合計点平均値を下回る結果となりました。また、生活面においては、スクリーンタイム（テレビ、スマートフォン、ゲーム機等の視聴時間）が小学校男子を除き増加傾向にあること、「朝食を毎日食べる」と回答した割合が小学校男子と小学校女子で全国を下回っていることから、生活習慣の改善が求められます。

子どもたちが、運動の楽しさや大切さを実感し、自分の生活スタイルを見直すなどの意識を高めるとともに、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する基盤を養うことができるように、体育（保健体育）の学習の工夫・改善をはじめ、日常生活の中で運動に親しむ機会の確保、学校行事との関連性を生かした指導の推進など、様々な場面を通して体力・運動能力の向上や運動習慣の定着に向けた取組を充実させていくことが重要です。そのためには、学校だけではなく、家庭や地域の皆様との連携・協働が必要になります。今後も、各小中学校と教育委員会において、体育・健康等に関する指導の充実と課題の解決に努めて参りますので、引き続きご支援・ご協力をお願い申し上げます。